

工業部会通信

発行元：相模原商工会議所
工業部会
編集：かながわ経済新聞
代表：千葉龍太
〒252-0239
相模原市中央区中央3-12-3
TEL：042（851）3021



核融合科学研を視察 「地上の太陽」実験を見学

近未来技術研究会（西澤勇司会長）は10月30、31の両日、移動例会として岐阜県土岐市の「核融合科学研究所」などへの視察会を実施。会員21人が参加し、「地上の太陽」と呼ばれる核融合発電の実現に向けた、同施設の研究最前線に触れた。



参加した近未来技術研究会メンバー

核融合エネルギーは、海水中に含まれる重水素とリチウムを燃料とし、3リチウムと0.3グラムのリチウムから、日本人一人あたりが使用する年間電力消費量を発電できる。二酸化炭素も排出しないため、エコで安心なエネルギーとされている。

ただ、核融合には、1億度Cを超える高温で、高密度の原子核を長時間維持する非常に高度な技術が必要という。同施設では、その実用化に向けた実験を行っている。

同研究所のスタッフは「核融合の研究は世界各国で行われているが、日本は研究が最も進んでいる国の一つ」という。

2020年には国際協



スタッフの説明に聞き入る参加者たち

力による国際熱核融合実験炉での実験も開始され、25〜30年後には実用化される見込みとされている。

今回の視察では、核融合プラズマを発生・維持するため、超伝導コイルを用いた世界最大の大口径ヘリカル装置（LHD）、実験を遠隔操作するための制御室を見学した。

プラズマを発生させる実験やバーチャリアリティーによるLHDの内部の世界も体験。未来のエネルギーを実現する最新の技術に触れた。

◆ このほか、マテハン・ロジスティックスの最新設備などを展示する「日に新設館」（滋賀県蒲生郡日野町）、繊維機械や自動車の生産技術を紹介する「トヨタ産業技術記念館」（愛知県名古屋市中区）も訪問した。

◆ 「日に新設館」では、実験するマテリアルハンドリングや物流システムを見学した。

自動車組み立てシステムの実物ラインデモ、分速500台に達する世界最速の超高性能ケース自動倉庫、ロボットを用いた最新のペレットラインシステムなど、すべてが稼働可能な状態で展示されており、実際に参加者も操作をするなど最先端のロジスティックスを体験していた。

さらに一行は、国宝である犬山城（岐阜県犬山市）を訪ね、犬山城は国宝四城の中で最も古い現存の天守を今に残しており、参加者はそこに刻まれた数々の歴史を木のきしみ音などから体感していた。

今回の視察会に参加者は「400年以上前のもので、未来の産業発展に関わる最新技術まで触れることができた。日本のモノづくりも、歴史をたどると素晴らしい技術があったことに改めて気付けた」と話していた。



「日に新設館」の組み立てライン



MEMO
テクノス

会員企業のMEMOテクノス（相模原市緑区西橋本）は、オフィス内にソフトバンクが開発したヒト型ロボット「Pepper（ペッパー）」を4台導入した。写真。ペッパーはヒトの感情を理解したり、自ら感情を表現したりできるロボット。社員がコミュニケーション

ヒト型ロボを導入 展示会での活用も

「産業交流展」に会員企業も出展

11月18〜20日まで、東京ビッグサイトで開催された中小企業による国内最大のトレードショー「産業交流展2015」に工業部会の会員企業も多数出展した。

今回で18回目。東京都や東京商工会議所などで構成される実行委員会が主催。周辺の神奈川県や埼玉県、横浜市などとも広域連携している。会場は「情報」、「環

境」、「医療・福祉」、「機械・金属」の4分野で中小企業の技術・製品が展示される。昨年は延べ4万6000人が来場。

マッチングなども行われ、国内では最大の中小企業の展示会となっている。

会場では相模原市のトリアル発注認定製品の認定企業・製品の紹介コーナーも設けられた。認定された東鈴紙器や旭フオークリフトといった工業部会の会員企業も出展。人気を集めていた。

シオンすることで、職場の「癒し効果」をねらった。また、展示会などに活用することで、集客アップも図っていく。

「実際にヒト型ロボットを使ってみることで、動作を検証したり、それをを使って何かビジネスができないか探るのも目的で

す」と渡邊将文社長。同社はすでに新規事業として産業用ロボットの製造を手掛けており、納入実績もある。「ロボ産業が日本の基幹産業の一つになることは間違いありません。いずれロボ関連ビジネスを主力事業に据えていきたいです」と話している。



職人がいい、施工がいい、住む人がいい。
そこに良いまちが生まれる。

まちづくりの職人 久野新一

創業96年

有限会社
トータルハウジング久野

〒252-0246 神奈川県相模原市中央区水郷田名 2-11-26 TEL 042-762-0096 FAX 042-760-0078
フリーダイヤル 0120-61-0096 URL <http://www.t-h-kuno.co.jp/>